

かみね

2013
1
No.1565



新年増大号

かみね公園から望む朝日

CONTENTS

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| ■年頭所感 2~7 | ■講演会のご案内 21 |
| ■紙上名刺交換 8~14 | ■国・県・市のコーナー 22 |
| ■新春特集：7部会長座談会 16~19 | ■ベストセラー/数字で脳トレ 23 |
| ■新年名刺交換会 20 | ■協賛広告 24~32 |



発行所 ●日立商工会議所 〒317-0073 日立市幸町1-21-2 発行人 ●矢口光男

購読料 ●200円 (購読料は会費の中に含まれています)

TEL 0294-22-0128 FAX 0294-22-0120 ホームページ <http://www.hitachicci.or.jp/>



新たな連携で

企業と地域に活力を



日立商工会議所

会頭 秋山 光伯

謹んで新年のごあいさつと申しあげます。

会員事業所の皆様には、平素より日立商工会議所運営全般にわたり、温かいご支援ご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災から

間もなく2年が過ぎようとしております。この間、行政や関係機関の皆様の懸命な取り組みにより、インフラ等の復旧・復興は大幅進んでまいりましたが、経済・産業にしましては道

半ばの状況で、早期の本格的な復興が望まれます。さて、国内の景気の動向につきましては、昨夏以降弱含んで推移しておりますが、内需が底堅さを維持し、海外経済の回復を待つて、

緩やかに回復していくと見られております。一方で、グローバルな競争が激しさを増しており、デフレや円高の長期化、電力問題などから産業空洞化への懸念が高まるなど、厳しい経営環

境が続いております。こうした中、会員事業所におかれましては、直面する難局を新たな発展の好機とし時代の変化に対応した新分野への進出、付加価値の高い商品や新サービスの

提供など経営革新に果敢にチャレンジされ、更なる飛躍を図っていただきたいと思います。

当所といたしましては、地域経済を支えておられる中小企業の皆様が元気に活動できるような環境づくりを進め、中小・小規模企業の経営強化と地域経済の活性化に努めてまいる所存です。

このため、会員事業所の皆様方を積極的に訪問させていただき、経営上の課題や問題点を伺い、その解決に向けて少しでも役立つ事業に取り組みたいと考えております。特に、金融や経営革新、創業、海外展開等に対する窓口相談体制を一層強化するとともに、各分野の専門家等との連携を含め質の高いサービスや情報

提供を行ってまいりますので、大いに商工会議所を活用いただきたいと存じます。

一方、地域経済の活性化に向けましては、商工会議所の基本組織である部会や委員会の事業を中心に、以下の取り組みに力を注ぎたいと考えております。

まず、まちづくりに関しましては、商業の活性化を念頭に商店会の皆様の意見を伺い、改めて方向を探ってみたいと存じます。同時に各商店会の魅力づくりや賑わいづくりを支援するとともに、まちづくりや商業活性化に欠かせない道路をはじめインフラ等の整備促進を、関係機関と連携しながら要望活動など通じて実現を目指します。

関連しまして、まちの賑わいづくりでは、引き続き

地域で行われる商店会や飲食業界などのイベントを支援するほか、整備が進んでおります大みかどと久慈地区を結ぶBRTの関連事業や、日立駅情報交流プラザでの土産品等のPR・販売等を支援してまいります。また、観光関連では、地域資源の一層の活用とブランド化を推進するほか、ふるさと日立検定の継続実施により、市民と連携し地域の魅力度の向上を図ります。

次に、産業空洞化が懸念されるものづくり関連では、産業支援機関や産学官金の連携を一層推進し、販路開拓はもとより、新製品や新技術の開発、さらには成長産業への取り組みなどを支援します。また、ものづくりの集積を活かして進められている、未来都市モデル

プロジェクト事業への参画や、いわゆるグループ補助金を活用し共同事業に取り組む企業グループなどの活動を、積極的に支援いたします。

このほか、各部会で進めている課題研究や情報提供事業などへの支援や、委員会の相互交流事業等の積極的な開催を通じて、新しい連携や共同事業等への取り組みを促し、地域の活力を高めて行きたいと考えております。

地域経済は、なお厳しい時期が続くものと存じますが、各業界ともにこれまで幾多の困難を克服し、地域の産業や雇用を守ってまいりました。幸い厳しい中にも土産品の開発・販売や、ものづくりの分野での共同事業など新しい活動や連携

が生まれており、また、内外の友好都市等との経済交流も、活性化への進展が見られます。さらには茨城港日立港区でのエネルギー基地建設は、更なる企業進出とともに物流網の整備を促し、地域に新規の需要をもたらすものとして期待されております。当所といたしましては、こうした好機を捉え、行政はじめ関係機関との連携を強化し、この厳しい難局を乗り切ってまいりたいと考えているところです。皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各位並びに関係者皆様の益々のご繁栄を祈念し、年頭のご挨拶といたします。



年頭所感



日本商工会議所会頭 岡村 正

平成25年の新春にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。
本年が日本再生へ力強く踏み出す一年であることを心より祈念いたします。

「決める政治」のもと
産業の競争力強化を

2012年はわが国をはじめ米国、中国など、世界経済に影響力のある国々が新たな指導体制に移行した年でした。本年は各国が協調し、日本、欧州、米国、新興国のそれぞれにおいて、力強い経済発展が実現されることを期待したいと思います。

しかし、現下の世界経済は減速懸念が強まる状況にあります。欧州の財政金融問題は当面の危機は回避しているものの、経済不安は依然くすぶり続け、また、米国の財政問題や新興国の成長力鈍化など不安材料も多く、今後とも注意深く見守る必要があります。国内経済も10年以上にわたるデフレにより国内市場は縮小

し、GDP(国内総生産)も減少し続ける中、長引く円高やエネルギー供給制約など企業経営を圧迫する要因も重なり、景気後退局面との見方も強まっています。

こうした中、昨年末の選挙を経て発足した新たな政権には、強いリーダーシップによる「決める政治」のもと、成長戦略の着実な実行、なかでも私どもが求め続け、その柱に位置づけられた中小企業戦略を強力に進めることを強く期待します。「科学技術創造立国」、「文化立国」を旗印に、官民あげて成長分野へ集中的投資を行い、国内需要を喚起しながら、世界を牽引する気概を持って産業のイノベーションを巻き起こす政策を断行するときです。

被災地復興と

「攻め」の中小企業政策を

東日本大震災から間もなく2年が経過しようとする中、被災地復興と福島県の再生は遅々として進まない状況にあります。震災の記憶を風化させず、国内需要を拡大させるためにも復興のスピードを上げなければなりません。被災地の復興が日本の再生の第一歩であることを改めて強く認識する必要があります。商工会議所では具体的な活動として遊休機械の無償提供事業や被災地域産品の販路開拓支援事業などを展開していますが、今後も復興の支援活動を継続的に展開してまいります。

また、わが国の国民生活や企業経営を左右する重要課題については、その解決に一刻の猶予もありません。国家の命運を握るエネルギー政策、給付の重点化・効率化策の多くが先送りされた社会保障と税の一体改革、価格転嫁対策などの課題が残る消費税増税、早急な決断が求められるTPP(環太平洋経済連携協定)への交渉参加問題、企業の海

外進出などの加速に伴う国内産業の空洞化や雇用の減少など、今後の経済社会にとって極めて重要な課題ばかりです。日本経済を成長させる原動力は中小企業のダイナミズムです。中小企業の「成長」を促す視点を踏まえた起業・創業や販路開拓、海外進出支援、人材供給・育成など「攻め」の政策が必要です。中小企業の支援ニーズは多様かつ成長段階に応じても異なりますが、我々としてもきめ細かく、より踏み込んだ具体的な支援策を政府などへ強く働き掛けてまいりたいと存じます。

日本商工会議所でも全国の商工会議所間のネットワークをさらに強固にし、これら直面する諸問題の解決に向けて全力でまい進してまいります。

よりよい経済社会を

次の世代に

高度成長の象徴として1964年に開催された東京オリンピックから56年の時を経て、2020年オリンピック・パラリンピックの招致が実現するならば、東日本大震災という国難を乗り越え、日本経済

再生に向かう大きな目標となります。この3月にはIOC(国際オリンピック委員会)評価委員会が来日、最終調査を実施し、9月7日にIOC総会で開催都市が決定します。まさに最終決戦となりますが、日本中に勇気と希望を与え、未来を担う子供たちの健全な育成のためにも、全力を挙げて勝ち取りたいと存じますので、全国の皆様の熱いご支持をお願いいたします。

今日の日本は閉塞感の中にありますが、我々には将来の世代に対してよりよい経済社会を創り、樫を渡していく責務があります。長年にわたり積み残してきた課題に勇気を持って切り込み、日本経済の再生を果たしながら、50年、100年後の社会発展の基盤を再構築しなければなりません。絶え間ない「イノベーション」への挑戦により閉塞感を打ち破り、日本経済の再生と持続可能な経済社会の実現を果たすため、本年も皆様とともに前進していく決意であります。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。



日立市長 吉成 明

輝かしい2013年の新春を皆様とともに
迎えることができましたことを、
心からお喜び申し上げます。

日頃から、秋山会頭はじめ、会議所会員の皆様には、市政各般にわたり温かい御支援、御協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復旧・復興に皆様とともに全力で取り組んだ1年でありました。各企業におかれましては、原発事故に関連した風評被害の影響など大変な努力を強いられて

また、本市においても、日立総合病院の救命救急センターの完成、東京ガス日立LNG基地の着工、国道

6号日立バイパスⅡ期(国分町・旭町)の事業化など、明るい話題が数多くありました。

特に、日立バイパスについては、交通渋滞の緩和のみならず本市の防災対策や企業の生産効率向上に大きく寄与するものと期待しております。

本年は、震災復興計画の最終年度として、新中央体育館の建設着工や小・中学校の耐震補強など、更なる復興へ向けた取組を進めるとともに、昨年4月からスタートした新たな総合計画の目標である将来都市像「生活未来都市・ひたち」知恵と自然が響き合い、く

らしを明日につなぐまち」の実現に向け、一歩一歩着実に施策を推進してまいりたいと考えております。

また、今春には、市内4

新たな交流が生まれ、南部地区の更なる活性化につながるものと期待しております。

また、今春には、市内4館目となる南部図書館が完成する予定です。この施設の完成により、家庭教育や子育て支援そして文化交流の新たな拠点となるとともに、図書館サービスの向上が図れるものと考えております。さらには、平成17年に廃線となった日立電鉄線跡地を活用したバス交通をベースとする新交通(BRT)の一部開通(久慈地区から大甕駅間)を予定しており、地域における交通手段の確保はもとより、

結びに、日立商工会議所のますますの御発展と、本年が会員の皆様方の御家族共々、実り多い明るい一年でありますことを心からお祈り申し上げます。



年頭所感

平成二十五年の新春を迎え、
謹んでお喜び申し上げます。



震災を越え地域に力を

日立市十王商工会 会長 和田 芳信

日立商工会議所の皆様には平素よりご支援ご協力いただき、厚くお礼を申し上げます。

東日本大震災と福島原子力事故から二年目を迎えるうとしておりますが、大震災の生々しい爪あとが今でもそのままになっており、復旧、復興が急がれております。また、地域の観光や農水産業等への風評被害も極めて厳しい状況が続いております。当地区において

も、依然、震災前の業績を回復できていない事業所が少なくありません。さらに、我が国の経済全般を見ても円高や欧州の信用不安、デフレによる景気低迷が続く、先行きは極めて不透明であり、それを受け市内の商工事業者を取り巻く経営環境もかつてないほど、厳しいものとなっております。

震災では商工会としましても、緊急融資制度や各種助成措置等により、商工業

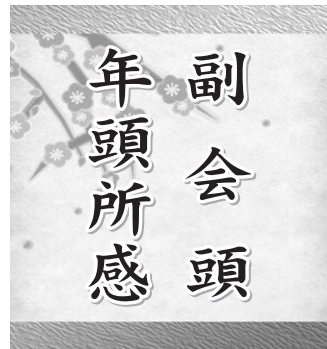
者の皆様の支援をさせていただいたのはじめ、茨城県商工会連合会の外山会長が国会の震災復興特別委員会で、地域や商工業者の窮状を訴え、復興への支援を要望させていただきました。

また、原点に立ち返り、支援機関として「行きます・聞きます・提案します」をキャッチフレーズに、商工業者の皆様の経営支援や地域振興事業などを通して、地域の活性化に取り組んでおります。さらに昨年二月には、国の地域産業資源活用事業として、ポポーを活用した関連商品の開発・販売による町おこしが認定され、あらためて新商品の試

作や新たな販路開拓に取り組んでいるところです。特にポポーは商工会議所の皆様からご協力、ご支援をいただいております、この場をお借りして重ねてお礼申し上げます。日立ブランドの特産品として、知名度を高め、市の活性化に寄与していきたいものと考えております。

商工会議所の皆様や地域の皆様と連携し活気ある街づくりに貢献できるよう、商工会も頑張つてまいりたいと存じます。

最後になりましたが、皆様には良い年になりますよう御祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



副会頭 友部 英一



新年おめでとうございます。会員の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から、当所事業運営につきまして、絶大なるご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は震災後の沈滞ムードを払拭するような会員事業所の復旧・復興に向けた活動を重点に、スローガンである「身近な商工会議所として企業と地域に活力を」の実現に向けて活動して参りました。

その成果の一つとして、茨城県中小企業等グループ施設等災害復旧補助事業において、「日立市ものづくり産業活性化グループ」の共同事業が採択され、新たな産業構築に向けた活動がはじまりました。また、「強い

中小企業」になるための連携活動としては、地元発「FMひたち」と「茨城大学工学部」、「ひたちものづくりサロン」との相互連携によりスタートした、ラジオ番組づくりへの協力など、将来を見据えた新たな活動を展開しております。

更には、円高に伴う海外進出や事業展開の促進から、受発注環境に大きな変化が現われはじめ、市や産業支援機関にも強い連携と支援を求めてきたところであり、これからは企業個々が、自社の活性化に向け、地域の特性と経営資源を存分に活用していく経営が必要だと考えております。

「災い転じて福と為す」の諺ではありませんが、「震災」「復興」というキーワードが、この地域を覚醒させ、企業の活力を生み出し、それを商工会議所活動がサポートしたいと考えます。是非、会員間の強い連携意識を持った活動を念頭に、新しい年の更なるご発展をご期待申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

副会頭 佐渡 淳三



平成25年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

会員の皆様には平素より商工

会議所運営全般にわたり、ご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、ロンドンオリンピックでの日本選手の活躍に日本国中が心を熱くいたしました。あらためて、日本国民の「絆」を強く意識いたしました。半面、経済面では円高・デフレと未解消の風評被害など景気回復への課題が山積の年でもありました。加えて、昨年末には政局の大きな転換を迎え、不安と期待の輻輳した感を持ちました。当地域におきましては、復興に向けた動きが本格化しつつも、厳しい経済構造の変化から消費購買マインドが弱まり、ストレスを感じた一年でした。このような現状を見るにつけ商工会議所の存在は益々重要になってくるものと確信しております。

商業・観光環境整備部会では、地域資源の掘り起しと活用、地域ブランドの認定と発信。農商工連携による人材育成支援事業と6次産業化による特産品の開発等に取り組んでまいりました。加えて、3月には市内6組合（日高料飲業・日立料飲業・多賀三業料飲・多賀南部旅料飲・日立旅料飲味楽会・久慈町飲食店）との連携により、日立市料飲業組合連絡協議会を発足、4月には日立さくらまつり、5月にはひたち国際大道芸に参加したほか、夏の恒例イベントでありますドリ๊งクラーリを大みか

地区を会場に実施し多くの事業所、市民の方々に好評の声をいただきました。

本年度は、これまでのイベントに加え、市外からの人を呼び込む一策として特に、「観光」に力点をおいた事業を推進してまいりたいと思います。幸い日立市には、名所旧跡やレジャー施設、海・山と豊富な観光資源があります。史跡やレジャー施設を利用した観光ルートづくり、海（海水浴・遊漁船・漁業体験）や食（地魚・名物料理のPRや開発）をテーマに関係部会・委員会が連携し英知を出し合い取り組みたいと思います。

会員の皆様には引き続き絶大なるご支援ご協力の程お願い申し上げます。

副会頭 大山 敬次



新年あけましておめでとうございます。

日頃より商工会議所の事業運営に多大なるご支援・ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は振り返ってみますと、日立風流物がユネスコ無形文化遺産に登録されてから初めて4台全ての山車が揃った神峰神社大祭禮が開催されました。関係者の皆様には大変なご苦労があつたかと存じます。改めて

深い敬意を表する次第です。そのほか、日立さくらロードレースが2年振りに開催されるなど、オリンピッククイヤーであった昨年は、文化面での明るい話題が多かったように思います。

一方、政治経済面では、中国の反日デモや世界的な景気減速懸念など、国の内外で中小企業者や消費者の不安を拭えない話題が数多くありましたが、今年は新たな政治体制のもと、将来への明るい展望を描ける政策に期待したいと存じます。

商工会議所といたしましては、会員企業の皆様の経営課題に対応できるよう、関係官庁、近隣商工会議所等との連携を密にしておくことが大切だと思います。私も副会頭として、微力ではございますが、地域経済の発展に尽力いたす所存でございますので、皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

今年の干支である巳（蛇）は、脱皮を繰り返すその姿から復活と再生の象徴とされ、福德の神である弁財天の使いであると言われています。巳（実）のなる年として、会員の皆様にとりまして、幸多い一年でありますことを祈念し、年頭のご挨拶いたします。

喪中欠礼

副会頭 岩田 秀邦



紙上名刺交換

大山敬次



副会頭

㈱常陽銀行 執行役員日立支店長
助川町1-9-1 TEL22-3131

スピード感をもって、地域の発展に尽力します

佐渡淳三



副会頭

㈱魚武 専務取締役
弁天町1-12-14 TEL22-5659

有限実行

友部英一



副会頭

日立鉄工協 代表理事
桜川町2-25-3 TEL33-0208

会議所を通じて少しでも地域、業界の為に感謝を込めて

秋山光伯



会頭

㈱秋山工務店 代表取締役社長
大沼町1-7-1 TEL34-2233

実りある一年になるようにお互い努力しましょう

森嶋鎮一郎



監事

森島酒造㈱ 代表取締役
川尻町1-17-7 TEL43-5334

食文化を通して社会への貢献

矢口光男



専務理事

日立商工会議所 専務理事
幸町1-21-2 TEL22-0128

「感謝」
日立市がもっともっと元気になるよう頑張ってます

岩田秀邦

副会頭
有限会社運平堂本店
代表取締役会長

喪中欠礼

川崎 優



理事

日立商工会議所 理事
幸町1-21-2 TEL22-0128

まちの活性化と会員事業所の活力強化に全力で取り組んでまいります

泉 有

監事
泉有税理士事務所
所長

喪中欠礼

小野武雄

監事
有限会社天力
代表取締役

喪中欠礼

2013

